

「危ない間取り」が増えています !

職業能力開発総合大学の松留慎一郎教授（鹿児島出身）によると上下階の壁や柱の直下率により、2 階床の不陸事故の発生率が大きく変わるそうです。

住宅瑕疵保証機関のデータを分析した結果、2 階床の不陸事故の発生率は直下率 50%を境に大きく変わっている。（下表参照）

直下率	90~80	80~70	70~60	60~50	50~40	40~30	30~20
事故発生率	0.003	0.006	0.012	0.023	0.072	0.114	0.180

直下率の低さだけが事故原因というわけではないが、松留教授は「構造的な合理性を高めれば半ば自動的に直下率は向上する」と言っています。壁量計算や偏芯率は確認されていても、荷重は壁や柱を通じ、下へ伝わるという前提条件が崩れた間取りでは耐震性能等に影響を与え、地震時に大きなダメージを受ける可能性があります。

昔の設計士はトレース紙を重ねて上下階の壁や柱の位置を確認していたが、最近は構造的知識の乏しい営業マンが間取りまで決定し、設計士が施主との打合せで間取りの変更をできないことなどもあるようです。

このような状況を受け、岐阜県の建築士会では直下率チェック図を用いた伏図作製の講習会を開いた所、かなりの成果があったそうです。日常、木造建築に係っている人には当たり前のことですが、学校で RC しか勉強をしていない若い設計士には必要なことかもしれませんね。

【情報】

*木造住宅 IN 東京

日時 9月6日(日) 13:30~17:30
 場所 東京国際フォーラム G409 会議室
 参加費 無料 要予約 (Tel0120-37-0167)
 内容 「首都における地震」 講師 島村英紀 氏
 「木造住宅の構造リフォーム」 講師 保坂貴司 氏

*炭化物による炭素貯留、カーボンソリットおよび地域開発

日時 9月10日(木) 13:30~16:00
 場所 工業技術センター 大会議室
 参加 事前申込 (Tel0995-43-5111 化学・小幡 氏)
 講師 立命館大学 地域情報研究センター 柴田晃 氏

*鹿児島県法人会 経営研修会

日時 9月17日(木) 19:00 開演
 場所 鹿児島県民交流センター 県民ホール
 参加費 無料(当日受付 定員 590名)
 内容 「出会いを生かせば道は開ける」講師 中村文昭 氏



【定休日】

9月は5, 6, 12, 13, 19, 20, 23, 27日となります
 10月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日となります
 ご協力をお願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)